

# 具体的な操作例

**赤文字** : 初期に設定する項目  
**青文字** : 運転状態で設定する項目  
 ・ **2** のように手順番号がキーロックの設定をして

## PVレンジ種類を設定するには

<p><b>1</b> [display]キーを1回押しして運転表示にしてください</p>  <p>センサが未配線や断線の場合、第1表示部にPV入力異常のアラーム表示が発生(AL01~AL11のどれか)する場合があります</p>	<p><b>2</b> [para]キーを2s以上押し続けてください パラメータ設定表示になり、第1表示部に <b>node</b> と点滅します</p> 
<p><b>3</b> [V]または[△]キーを何回か押し、第1表示部に <b>STOP</b> と点滅させてください</p> 	<p><b>4</b> [enter]キーを押してください セットアップ <b>01</b> (PVレンジ種類)の設定値が表示されます</p> 
<p><b>5</b> [enter]キーを押してください 第2表示部の一番右の桁が点滅し、数値変更可能状態になります                  [&lt;]、[V]、[△]キーを押して、PVレンジ表より希望のセンサタイプのレンジに変更してください                  そのあと、[enter]キーを押して、変更した数値を確定します                  (数値点滅状態は、まだ内部で数値は確定されておらず数値変更前の状態と一緒に)</p> 	

## オートチューニング(AT)を実行するには

ATは強制的にMVのオンとオフを何回か繰り返して(リミットサイクル)PIDを求めます  
 この動作が装置にとって問題ないことを確認してからATを実行してください

<p><b>1</b> [display]キーを1回押しして運転表示にしてください</p> 	<p><b>2</b> [para]キーを2s以上押し続けてください パラメータ設定表示になり、第1表示部に <b>node</b> と点滅します</p> 
<p><b>3</b> [enter]キーまたは [&lt;]キーを押して 第1表示部に <b>R--n</b>、第2表示部に <b>RLto</b> と表示させてください</p>  <p>制御方式が「ON/OFF制御」を選択およびセットアップ③(モード表示設定)を変更している場合は表示されません</p>	<p><b>4</b> [V]キーを何回か押しして第1表示部に <b>RL</b>、第2表示部に <b>RLtoF</b> と表示させてください</p> 
<p><b>5</b> [enter]キーを押してください 第2表示部の <b>RLtoF</b> が点滅します</p>  <p>点滅させるにはRUNモードかつAUTOモードでPV入力異常がないことが必要です また、DI割付で「AT停止/起動」を選択している場合、点滅せず変更できません</p>	<p><b>6</b> [V]または[△]キーを1回押ししてください 第2表示部の <b>RLtoF</b> が点滅します</p> 
<p><b>7</b> [enter]キーを押してください <b>RLtoF</b> が点灯し、オートチューニングが起動します オートチューニング実行中は第1表示部一番右の小数点が2回ずつ点滅します (オートチューニング終了後は消灯しPIDが求められます)</p>  <p>オートチューニング実行中にREADYモード切り替え、MANUALモード切り替え、PV入力異常、停電が発生すると、PID定数を変更しないままオートチューニングは自動的に停止します また、オートチューニング実行中に強制的に中止する場合は手順4で <b>RLtoF</b> から <b>RLtoF</b> に変更してください</p>	

## イベントの動作種類を設定するには

イベント1に動作種類として「偏差上限」を設定する例です

<p><b>1</b> [display]キーを1回押しして運転表示にしてください</p> 	<p><b>2</b> [para]キーを2s以上押し続けてください パラメータ設定表示になり、第1表示部に <b>node</b> と点滅します</p> 
<p><b>3</b> [V]または[△]キーを何回か押しして 第1表示部に <b>EULF</b> と点滅表示させてください</p> 	<p><b>4</b> [enter]キーを押してください 第1表示部に <b>EUL1</b>、第2表示部に <b>0</b> と表示されます</p>  <p>第2表示部の <b>0</b> はイベント動作種類が「なし」という設定です</p>
<p><b>5</b> [enter]キーを押してください 第2表示部一番右の桁が点滅状態が点滅します [V]または[△]キーを押して <b>0</b> の点滅表示にさせてください 第2表示部の <b>0</b> はイベント動作種類が「偏差上限」という設定です</p>  <p>同じように <b>EUL1</b> はイベント2の動作種類、<b>EUL1</b> はイベント3の動作種類の設定になります</p>	

## SPの値を設定するには

<p><b>1</b> [display]キーを何回か押しして第2表示部のSPオレンジLEDを点灯させてください 運転表示のSP表示状態になります</p> 	<p><b>2</b> [enter]キーを押してください 第2表示部一番右の桁が点滅し数値変更可能状態になります</p> 
<p><b>3</b> [&lt;]、[V]、[△]キーを押して希望のSP値に変更します 点滅状態ではまだ確定していません SPリミットが働くと、数値がある値以上変更できない状態になります 数値変更を行うにはSPリミットの変更が必要です</p> 	<p><b>4</b> [enter]キーを押してください 変更した数値が点滅から点灯し、確定されます</p>  <p>[enter]キーを押さず、[display]キーを押すと手順1の状態に戻ります</p>